

2018年12月21日

課題名：喉頭癌に対する放射線化学療法の施設間格差

◆研究の目的と概要◆

本研究は、喉頭癌に対する放射線化学療法の現状を評価することにより、適切な治療方法を模索し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2010年1月以降～2018年3月までの間に、DPCデータで入院契機病名または最も医療費を投入した病名に喉頭癌（ICD-10 C320,C321,C322,C329）のある方。

◆研究に使用される情報◆

この研究は一般社団法人健康・医療・教育情報評価推進機構（HCEI）が保持する電子診療録由来の診療情報データベースを用いて行います。本研究ではデータベースのうち性別、生年、DPCデータ、処方データ、注射薬データ、病名データ、レセプト請求データを使用します。

◆研究方法◆

HCEIから提供をうけるデータベースはすでに匿名加工されており、データベースから個人判別できる情報は含まれていません。この研究は倉敷中央病院の倫理委員会の承認ならびにHCEI倫理委員会で承認を得て行われます。

データベースを用いて、喉頭癌に対する放射線療法においてどのような化学療法が行われているか、化学療法の用量は適切であるか、また化学療法の用量と病気の進行（喉頭温存率、そう死亡率）の関連について評価する予定です。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせは以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 研究責任者 藤原崇志
E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）